

- 1 研修会のご報告
  - ①市民健康講座『気楽に語ろう人生会議』
  - ②在宅医療各種課題検討会①『誤嚥性肺炎』
  - ③在宅医療各種課題検討会②『急変時の対応』
- 2 研修会のご案内
- 3 情報提供書の活用について
- 4 研修動画（YouTube限定公開）のご案内



# まちななかラウンジNEWS

## 1. 研修会のご報告

### 令和5年度市民健康講座 『気楽に語ろう人生会議』

講師: たくま医院 詫摩 和彦 先生  
H.H中尾クリニック 中尾 勤一郎 先生  
座長: 長崎市医師会 土屋 知洋 先生  
日時: 令和5年10月1日(日)14時~16時  
場所: 長崎ブリックホール国際会議場  
参加者: 会場93名、web63名

内容:  
長崎県が作成したACPの動画を見て、その制作に携わった先生方に制作エピソードを交えた解説をしてもらいました。参加者からは「リアルで分かりやすかった」「今後の支援に活用できそうだ」という意見が寄せられました。ACPの動画は長崎県医師会のホームページからご覧になれます。



### 在宅医療各種課題検討会① 日常の療養支援『誤嚥性肺炎』

講師: 長崎大学大学院  
耳鼻咽喉・頭頸部外科教授  
熊井 良彦 先生  
座長: 長崎市医師会 山口 達之 先生  
日時: 令和5年11月28日(火)  
19時~21時  
場所: web開催  
参加者: 114名

内容:  
熊井先生の講義は「嚥下障害診療の実際と長崎大学嚥下障害治療センターの地域医療への貢献を目指した今後の取組み」と題し、動画やスライドを使って嚥下の仕組みや嚥下障害のリハビリ、誤嚥防止等についてわかりやすく解説していただきました。また、長崎大学病院で発生した口腔外科医療事故をきっかけとして設立された嚥下障害治療センターを基盤に、医科歯科連携を含めた多職種連携を強化し、地域医療に貢献したいとの説明がありました。参加者から出された誤嚥性肺炎に関する質問にも丁寧に回答していただきました。多くの参加者からは、「満足」「わかりやすかった」「仕事に活かしたい」との意見が寄せられました。

### 在宅医療各種課題検討会② 『急変時の対応』

講師: 長崎みなとメディカルセンター  
救命救急センター長  
早川航一 先生  
長崎市消防局警防課  
白鳥 真規 講師  
座長: 長崎市医師会 山口 達之 先生  
日時: 令和5年12月7日(木)  
19時~20時30分

場所: web開催  
参加者: 104名  
内容:  
白鳥講師からは、長崎市消防局の救急隊が、救急現場において福祉施設職員等と情報共有の迅速化を図るために作成した「情報提供書」を紹介してもらいました。早川先生からは、急変時の対応としての備えや急変時にどのように頭を働かせるかなど一次救命処置の具体的な説明がありました。院外心肺停止症例の予後改善のためには、病院到着前に心拍再開させることが重要で、医療と介護の連携が必要です。講義だけでは、一次救命処置の技術は身につかないので、先生が各施設を訪問し開催している「ながさき介護救急蘇生講習会」や消防局の救命講習を利用してみてください。

## 2. 今後の専門職研修会のご案内 (zoom)

- 2月2日(金) 在宅医療各種課題検討会③  
「長崎大学病院での入退院支援とその時のACPについて」  
講師: 長崎大学病院 田浦 直太 先生・石井 浩二 先生  
時間: 19時00分~21時00分
- 2月17日(土) 在宅看看連携事例検討会  
(保健師・看護師・ケアマネ・社会福祉士等)
- 3月15日(金) 多職種研修会②・在宅医療各種課題検討会④  
「看取りの事例発表会」  
時間: 19時00分~20時30分



お申し込みは、QRコード又は  
まちななかラウンジに直接連絡を

← 在宅医療各種課題検討会③



← 在宅看看連携事例検討会



← 多職種研修会②・  
在宅医療各種課題検討会④

# 「救急隊への情報提供書」の活用について

研修会のご報告 在宅医療各種検討課題②『急変時の対応』で白鳥講師からご紹介があった長崎市消防局作成の「情報提供書」についてご案内します。

「情報提供書」は、救急隊が救急現場において福祉施設職員等と情報共有の迅速化を図るために作成されました。高齢者福祉施設からの救急搬送件数は、令和2年に全救急搬送件数の8.9%でしたが令和4年には、11.3%となり、搬送人員は約900人増えています。さらに、今後の高齢化を考えると情報提供書の必要性は、ますます高くなっていくものと考えられます。

「情報提供書」には、入所者様の氏名や生年月日、病気や服薬、かかりつけ医や家族の連絡先等の基本情報のほかに、DNAR（心肺蘇生拒否）の意思表示を記載する欄があります。救急隊は、かかりつけ医に直接確認が取れれば心肺蘇生を中止しますが、取れなかった場合は、意思表示があっても心肺蘇生を続けます。事前にACP

（人生会議）を実施し、意思表示を確認したうえで、意思表示がある場合には、救急隊要請前にかかりつけ医に連絡し、救急隊を要請するか否かを確認してください。

（かかりつけ医や家族へはいつでも連絡が取れるようにしておいてください。）

「情報提供書」は、急変時に備え、施設職員がいつでも取り出せる場所に保管をしておいてください。

救急隊は、施設職員に救急車への同乗を求めることがあります。施設の管理体制等に支障がある場合は強制しません。そのためにも「情報提供書」の活用をお願いします。

「情報提供書」は長崎市HPの「救急関係の記事」からダウンロードしてください。

救急隊への情報提供書					
＜事前記載事項＞			ご利用者ごとに事前に記載をお願いします。		
フリガナ氏名	年齢	歳	性別	男・女	
電話番号	生年月日	明・大・昭・平	年	月	日
住所					□：施設に同じ
病歴等	現在治療中の病気・ケガ		既往歴（入院歴及び入院先、手術歴等）		
常用服用薬	処方箋等があればコピー添付可		アレルギー有・無		詳細記入（薬・食べもの）
日常生活	会話	可能・一部可能・不能	歩行	可能・一部可能・不能	
認知機能	正常・軽・中・重		介護認定	要支援：1・2	
			要介護：1・2・3・4・5	未認定	
DNAR（蘇生処置の拒否）の意思表示はありますか？			有（本人・家族関係者）・無 関係者の続柄（ ）		
DNAR（蘇生処置の拒否）に関する書類はありますか？			有・無 「有」の場合は用意し救急隊へ提示してください		
かかりつけ医療機関名					
フリガナ担当医師名			電話番号		
緊急連絡先（家族等）	フリガナ氏名		電話番号	①	
	住所		電話番号	②	
続柄					
自由記載欄					
最終更新年月日 令和 年 月 日 定期的な更新をよろしくお願致します。					

## 「長崎市包括ケアまちなかラウンジ研修動画」YouTube限定公開のご案内

まちなかラウンジでは、令和4・5年度に開催した次の研修をYouTube（ユーチューブ）で限定公開しています。（YouTubeの「限定公開」は、そのURLを特定の人に共有することで、URLを知っている人だけが動画を視聴することができる機能です。）

- R4.12.13 令和4年度在宅医療・介護研修会1「わたしの思い・元気なうちから手帳の活用事例」
- R5.01.26 在宅医療各種課題検討会1「居宅療養管理指導について」
- R5.02.16 令和4年度在宅医療・介護研修会2「心不全患者の在宅療養の事例とこれからの課題」
- R5.02.28 令和4年度在宅医療各種課題検討会2「看取りについて」
- R5.03.16 令和4年度多職種研修会3「看取りの事例発表」
- R5.03.23 令和4年度在宅医療各種課題検討会3「急変時の対応Q&A」
- R5.10.01 令和5年度まちなかラウンジ市民健康講座「気楽に語ろう、人生会議」
- R5.10.05 令和5年度まちなかサロン「元気なうちから手帳の活用」
- R5.10.24 令和5年度在宅医療講座1「元気なうちから手帳の活用PART 2」
- R5.11.28 令和5年度在宅医療各種課題検討会1「日常の療養支援（誤嚥性肺炎について）」
- R5.12.07 在宅医療各種課題検討会2「急変時の対応」

視聴をご希望の方は、まちなかラウンジに電話又はメールで動画URLをおたずねください。動画は個人情報保護のため一部加工していますが、動画URLの公開、譲渡はしないようにお願いします。

## 長崎市包括ケアまちなかラウンジ

医療・介護・福祉の相談 在宅医療・介護の連携支援

住所 長崎市江戸町6-5 江戸町センタービル2階

TEL 095-893-6621 FAX 095-826-3021 Eメール machinnaka@muse.ocn.ne.jp

開設時間 月曜日～土曜日 9:00～17:00（日曜・祝日はお休み）